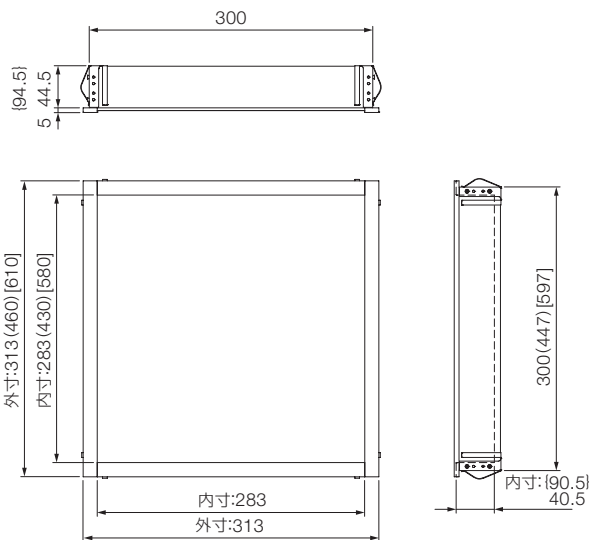


製品寸法図

●本体
NR-303005 / NR-304505 / NR-306005
NR-303010 / NR-304510 / NR-306010



※ () 内寸法は304505,304510,
[] 内寸法は306005,306010

建築基準法の基づく ホルムアルデヒド発散等級表示
F☆☆☆☆

製品仕様

品 名		PaReno スマートニッチ					
品 番		NR-303005-WT	NR-304505-WT	NR-306005-WT	NR-303010-WT	NR-304510-WT	NR-306010-WT
寸法(外寸) (mm)	高 さ	313	460	610	313	460	610
	幅	313					
	奥 行	49.5			99.5		
色		WT					
部材構成・材質		本体：ABS+オレフィンシート、EPDM、金具(ステンレス)					
梱 包		1セット/ ケース					
セット明細		本体1コ、固定金具4コ/ケース					
付属品		開口定規、小口シール1シート付属(シート寸法：51mm×21mm 小口シール×6枚)					

品 名	PaReno スマートニッチオプション 棚板		PaReno スマートニッチオプション カウンター	
品 番	NR-IS05-WT	NR-IS10-WT	NR-KT05	NR-KT10
寸法(外寸) (mm)	282×40	282×90	282×70.5	282×120.5
色	WT		無塗装	
部材構成・材質	本体：MDF+ベニヤ・オレフィンシート、受金具：鋼板		ラジアータパイン集成材	
梱 包	1セット/ ケース			
セット明細	本体1コ/セット			
付属品	棚板受金具2コ、棚板受金具用ビス8コ、固定用ビス6コ		両面テープ1枚	

城東テクノ株式会社
ユニークな建材で長持ち住まいをささえます。

本製品に関するお問い合わせは
ダイヤル【J】0120-106011
受付時間(土・日・祝を除く) 9:00~12:00/13:00~16:00

城東テクノホームページ
Joto
https://www.joto.com



※Joto製品は、PL法に基づく製品保証体制を取っております。
※製品の仕様は予告なく変更する場合がございますので、予めご了承ください。

Information

第②版 2412SK

Joto

要保存

施工(取扱)説明書

パントリーバージョン!
PaReno_{〔ベッノ〕} スマートニッチ

NR-303005 / NR-304505 / NR-306005 / NR-303010 / NR-304510
NR-306010 / NR-IS05 / NR-IS10 / NR-KT05 / NR-KT10

この度は、本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
製品の性能・品質・安全性を確保するために、この施工(取扱)説明書をよくお読みいただき、正しく施工及びご使用ください。
また、この施工(取扱)説明書は大切に保管してください。〈この「施工(取扱)説明書」は必ずお客様へお渡しください。〉

安全上のご注意 必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
●表示内容と記号の意味は、次のようになっています。

	この記号は、禁止の行為を示しています。		この記号は、必ず実行していただく「指示」内容を示しています。
--	---------------------	--	--------------------------------

禁止

＜本製品の設置場所について＞

各種法令、各自治体の条例に従い、防火の制限がかかる部位には使用しないでください。

本 体
許容重量 8kg

上記耐荷重はあくまで目安値です。

本製品に足を掛けないでください。

本製品に重量物を置かないでください。

使用上の注意

樹脂製ですので、火気、熱が発生するものの使用に注意してください。変形したり傷つく恐れがあります。

本製品に直接水をかけないでください。漏水の原因になります。

本製品を横長に取り付けないようご注意ください。漏水や破損の原因になります。

油、調味料、薬品などの付着に注意してください。油、調味料、薬品などが付着した場合はすぐに拭き取ってください。シミや変色の原因となります。

除光液やクレンジングの化粧品、毛染め剤、整髪料、うがい薬、芳香剤、漂白剤、酸性洗剤、液体洗濯洗剤などが付着した場合はすぐに拭きとってください。これらの中には樹脂に悪影響を与えるものがありますので、放置すると表面が変化したり、ヒビ割れの原因となります。

背板を壁側に押さえたり、押し付けたりしないでください。背板が抜けるおそれがあります。

一度挿入した製品は、壁面から再度取り外して挿入する事はできません。

お手入れの方法

樹脂製品ですので、ブラシ・クレンザー・オレンジオイル・シンナーなどの溶剤は使用しないでください。

表面が汚れたらすぐに、柔らかい布やスポンジを水で湿らせ、中性洗剤(オレンジオイル成分の洗剤は除く)をつけて拭いてください。

城東テクノ株式会社

施工の前に

- ・本製品の取り付けの際には、同梱の開口定規をつかい、水平・垂直方向の確認を必ず行ってください。意匠面だけでなく、安全面にも影響を及ぼすおそれがございます。
- ・壁の厚みは、石膏ボード (9mm/12mm) 合板 (9mm/12mm) にて想定している製品です。
- ・製品によりかかったり、乗ったりしないでください。製品や壁が破損したり、思わぬ事故に繋がる危険性がございます。十分にご注意ください。
- ・断熱材が入る外壁に接する壁や耐力壁、また壁厚の薄い引き戸を引き込む側の壁への設置はできません。事前に施工する工務店 (施工会社) にご確認の上、設置の検討をお願いいたします。
- ・一度本製品を壁に挿入した場合は取り外せません。また再挿入も絶対に行わないでください。脱落や破損の原因となり大変危険です。
- ・背板に力が加わる場合は、下地補強をしてください。

施工の手順 (本体)

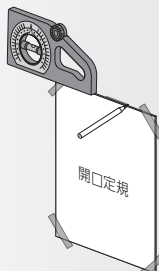
必要工具	●ジグソーまたはカッターやノコギリなど ●水平器 ●ゴムハンマーなど
------	--

① 位置出し (墨出し)

取り付ける壁に、同梱されている開口定規を使い、開口箇所への墨出しを行います。
※水平器、レーザー墨出し器などでレベル調整を必ず行ってください。

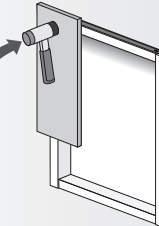
② 壁のカット

カッターなどで墨出したラインに沿って丁寧にカットしていきます。



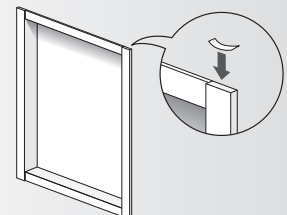
③ 本体の挿入

本製品を開口部へ挿入していきます。四隅に当て木をしながら、ゴムハンマーなどで軽く叩き込んで挿入していきます。
※強めに叩くと枠が破損する場合がございます。ご注意ください。
※開口部がきつい場合がございます。その場合は無理にこじ開けず、4隅の金具箇所の石膏ボード側を少し削って調整してください。逆に本体と壁の遊びが大きい場合は、隙間に接着剤 (ウレタン系または変性シリコン系) を挿入してください。
※本製品は縦勝ち納まりとなります。



④ 小口シール貼り ～完成

付属されている小口シールを枠の上下端部に貼り付けて完成です。
※小口シールは現場判断にてお使いください。



施工の手順 (オプション棚板・カウンター) ※別売品

■棚板の場合

① 位置出し (墨出し)

棚板の取り付け位置を墨出しします。

② 固定金具の取り付け ～完成

棚板本体に棚板受金具を棚板受金具用ビスで取り付けます。
所定の場所にビスで留めて固定します。
※壁への挿入前であれば、棚板受金具を使用せず、縦枠側面から付属の固定用ビスでの留め付けも可能です。
※隙間が出る可能性があるため、背板に押し付けないでください。
※2段の場合は、再度①～②の工程を繰り返します。

■カウンターの場合

① 本体の取り付け ～完成

接着面に油分がないことをご確認ください。
その後、付属の両面テープにてカウンター裏面に貼り付けて完成です。
※より固定を安定させたい場合などは、接着剤 (ウレタン系またはシリコン系) などの併用を行ってください。
※両面テープ施工直後のご使用はお控えください。圧着が安定してからのご使用をお願いします。

現場合わせを行う場合 (切り詰め加工・背板交換)

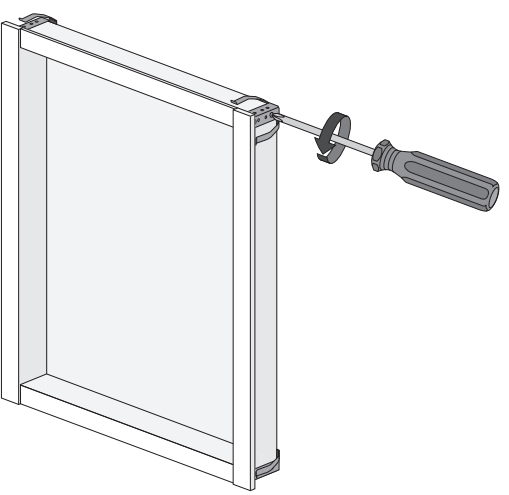
⚠ 注意

- ❗ 本体分解の際には各パーツ (取り付けバネ金具、背板クッション材など) が破損しないよう十分ご注意の上、作業をおこなってください。
- ❗ 全てドライバー (H型 1番)、キリ (φ1.5) にて手作業で施工をお願いします。留め付けにはインパクト等の電動工具はご使用にならないようご注意ください。
- ❗ 本製品は壁内部に障害があった際に、柱・間柱・筋交い等を避けてカットできる仕様ですが、現場判断を優先して対応をご確認ください。

必要工具	●1番のプラスドライバー ●φ1.5のキリ (下孔用) ●ノコギリ又はベビーサンダーなど
※電動工具 (電動ドライバー、インパクトドライバー) は使用しないでください。	

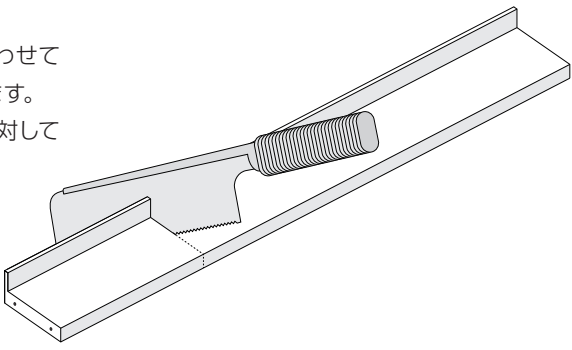
① 本体の分解

4隅のバネ金具の取付ビスを取り外します。
※留め付け箇所は、縦枠方向の2本となります。



② 切り詰め加工

現場状況に合わせた寸法にて、本体の枠材・背板をノコギリなどで寸法に合わせてカットしていきます。その後、バネ金具 (縦枠) 用の下孔をφ1.5のキリで空けます。
※本体に変形が起こる原因となり、意匠的にキレイに仕上がらないため、枠に対して必ず垂直に下孔を空けてください。
※オプションの棚板やカウンターがある場合は、収納内寸法にて現場合わせしてください。
※背板差し替えの場合は、②番箇所の作業は不要です。
4方枠の背板用スリット (板厚3mm以内) にて差し替えが可能です。



③ 再組み立て ～完成

背板を4方枠に挟み込み、4隅を元のバネ金具にてしっかりと固定してください。バネ金具の留め付け状態の確認と、クッション材のはみ出しが無いか確認していただき、問題なければ完成です。

